

NEWS RELEASE

ウルトラファインバブルを手軽に生成できる コンパクトで高性能な発生装置

ultrafineGaLF「FZ1N-05S 形」を発売

IDEC 株式会社(代表取締役会長兼社長:船木 俊之)は、気泡径が $1\mu\text{m}$ (マイクロメートル) 以下の極めて小さい気泡「ウルトラファインバブル」を生成する発生装置として、ultrafineGaLF「FZ1N-05S 形」を2017年7月25日(火)より発売いたします。

【特長】

- 200nm(ナノメートル)以下のウルトラファインバブルを高濃度生成※
- ウルトラファインバブル数密度2億個以上/mlを安定的に生成※
- 空気を自動吸引するため、コンプレッサが不要
- 空気以外にも窒素や酸素を吸引可能な気体入口を装備

※ $1\mu\text{m}$ (マイクロメートル) = 1,000nm (ナノメートル)

※ 計測器 Malvern 社製「NanoSight NS500」での測定結果。
(測定条件) 原水:蒸留水 気体:空気 循環数:10 循環



IDEC は、独自の加圧管路方式によるファインバブル発生装置「GaLF」シリーズを展開しており、世界を牽引するトップ企業としてウルトラファインバブルの普及を推進しています。

今回発売する「FZ1N-05S 形」は、大学や企業など、ウルトラファインバブルの研究を行うユーザー様に最適な、スタンダードモデルとして開発しました。実験室などで扱いやすいコンパクトサイズでありながら、高濃度のウルトラファインバブルを安定的に生成し、空気以外にも窒素や酸素を吸引することが可能なことから、本格的な基礎研究やアプリケーション開発を手軽に始めることができます。

また、本製品は一般社団法人ファインバブル産業会 (FBIA) のウルトラファインバブル技術利用製品として登録されており、ファインバブル製品製造における厳しい審査基準に準拠し製造されています。

ウルトラファインバブルは、気泡が極めて長期間液中に存在するという特性を持っていることから、医療や美容、食品、産業洗浄、植物育成、水産物といった幅広い分野での応用が今後期待されています。

**【主な仕様】**

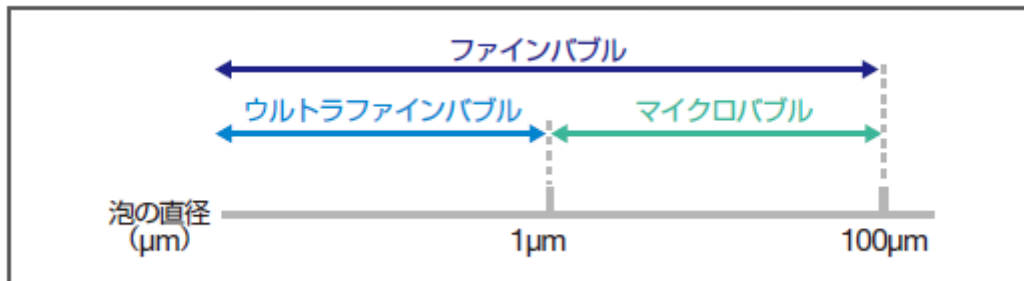
液流量	: 0.54m ³ /h (9.0L/min) at 60Hz または 0.48 m ³ /h (8.0L/min) at 50Hz
電源	: AC100V 50/60Hz 0.75~1.00kVA (消費電力は電源周波数、接続水槽水位により変動します)
使用周囲温	: 0~40°C(ただし、氷結しないこと)
使用場所	: 屋内専用
外形寸法	: W300×D360×H543mm(突起物含まず)
対象液体	: 清水
対象気体	: 空気、窒素、酸素
乾燥重量	: 約 29kg

* このリリースに関するお問い合わせ先 *

IDEC 株式会社 経営管理部 広報グループ 元山理映子
(TEL)06-6398-2505 (Email) r.motoyama@jp.idec.com

【バブルサイズによる呼称 (ISO 規格:ISO 2480-1)】

2017年6月22日、国際標準化機構 (ISO) より、ファインバブル技術に関する第1号基本規格「ISO 20480-1」が発行されました。基本規格の発行により、気泡径 $100\ \mu\text{m}$ (マイクロメートル) 未満の泡が「ファインバブル」、気泡径 $1\ \mu\text{m}$ 未満の泡が「ウルトラファインバブル」と定義されました。規格化により用語の統一がなされたことで、今後グローバル市場の活性化と健全な市場の発展が期待されます。



※ $1\ \mu\text{m}$ (マイクロメートル) = 0.001mm (ミリメートル)

以上